

3/21-4/19 10:00-17:00 休館日/月曜日(ショップ・レストランは営業)
なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F スタジオ301・302
観覧料無料



誰
でも

ない 近 さ

the closeness of no one

貝ゆだめ 個展 Yudame KAI solo exhibition

誰 でも ない 近 さ

the closeness of no one

貝ゆだめ 個展 Yudame KAI solo exhibition

2026
3.21 Sat - 4.19 Sun
10:00-17:00

休館日/月曜日(ショップ・レストランは営業)

観覧料無料

なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F スタジオ301・302
〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3
TEL: 0743-86-4420(代表)
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>
Instagram: @nara_bunkamura X: @narabunkamura

なら歴史芸術文化村の協力のもと、東京藝術大学の学生による展示を開催する運びとなりました。本展は、奈良県と東京藝術大学が連携して行う「おとなの古美研」事業の一環として実現するものです。

先端芸術表現科3年に在籍する貝ゆだめは、紙や木といった儚さを孕む素材を用い、手書きの文字や身近な描画行為を立体や空間へと転換する作品を制作してきました。そこでは、行為としての「遊び」と、意味が定まりきらない余白としての「あそび」が、作品と空間の関係をゆるやかに開いていきます。東京藝術大学の必修授業である「古美術研究旅行」を通して各地を巡り、羅漢像や仏像、寺院空間との出会いから、「とても近いのに遠い」という感覚、すなわち身体と空間、主体と客体が反転し続けるような距離感に強く惹かれています。展示タイトル「誰でもない近さ」は、欠損や風化によって匿名化された像が呼び起こす曖昧な記憶、祈りの場における身体感覚の伸縮、そして生成と喪失が共存する状態を示しています。本展では、新作を含むインスタレーションや彫刻、ドローイングを通じて、空間そのものが揺らぎ続けるような体験を立ち上げます。

今を生きる若手芸術家の表現を通して、文化財や古美術に恵まれた奈良の地から、芸術文化の継承と、伝統と創造について思いを巡らせていただければ幸いです。

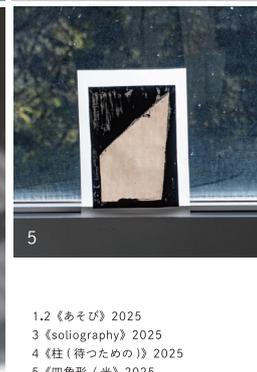
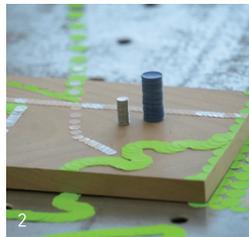
貝ゆだめ Yudame KAI

Instagram: @dancing_kaiko

2001年生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科在籍。

紙や木といった儚さをはらんだ素材を用い、子どもの頃の曖昧な記憶や感覚をたよりに、行為としての「遊び」と意味が定まりきらない余白としての「あそび」を結びつけながら制作を行う。身近な描画行為や痕跡、印刷的なものへの関心を起点に、一時的に仮の世界を立ち上げる、幼少期の砂場のような作品空間の可能性を探っている。

主催：東京藝術大学
企画・担当教員：西尾美也(美術学部先端芸術表現科)
協力：なら歴史芸術文化村、やまとびと株式会社



1.2 《あそび》 2025
3 《soliography》 2025
4 《柱(待っための)》 2025
5 《四角形/光》 2025

アーティストトーク

「遠さと近さのパラドクス」

貝ゆだめが担当教員である西尾美也となら歴史芸術文化村の絵画担当学芸員を招き、自身の制作や本展への取り組みについて話します。

日時：3/21 Sat 14:00-15:00

場所：芸術文化体験棟3F交流ラウンジ

聞き手：西尾美也、萩谷みどり(なら歴史芸術文化村学芸員)

申込：不要 参加：無料 定員：30名

アクセス

電車・バス

天理駅より直行デマンドシャトル(約10分)



◀詳細は専用サイトをご覧ください。

☎050-2018-0107

自動車

名阪国道天理東I.C.より南へ約3km

自転車

サイクルステーションにて更衣室・シャワールームが利用可能

